

令和8年

# 川崎町議会定例会9月会議のご案内

開催日 9月8日(火)～9月17日(木)

開催場所 川崎町役場 議場(3階)

◆第1日目 9月8日(火) 午前10時

- ・再開
- ・町長あいさつと行政報告
- ・委員会報告 所管事務調査報告

◆第2日目 9月9日(水) 午前10時

- ・追跡質問
- ・一般質問
- ① 佐藤 昭光 議員      ② 下斗米 麻子 議員      ③ 佐藤 清隆 議員

◆第3日目 9月10日(木) 午前10時

- ・一般質問
- ④ 的場 要 議員      ⑤ 眞幡 善次 議員      ⑥ 佐々木 昭雄 議員
- ⑦ 高橋 義則 議員

◆第4日目 9月11日(金) 午前10時

- ・条例改正
- ・決算認定 令和7年度川崎町各会計歳入歳出決算認定(8会計)  
(決算審査特別委員会へ付託)

※9月12日～9月13日は休会

◆第7・8日目 9月14日(月)～9月15日(火) 午前9時30分

- ・決算審査特別委員会(令和7年度分)

◆第9日目 9月16日(水) 午前10時

- ・決算審査特別委員会(総括質疑・採決)

◆第10日目 9月17日(木) 午前10時

- ・決算報告 決算審査特別委員会報告(8会計)
- ・補正予算 令和8年度一般会計補正予算(ほか3件)
- ・人権擁護委員の推薦
- ・閉会

問い合わせ先 議会事務局  
(電話 84-2301)

# 町政を問う 7 人の議員が質問

## 一般質問要旨

### 通告第 1 号 佐藤 昭光 議員

#### 1) 松並木の保存

笹谷街道に彩を添えてきた松並木を守る会が今年 3 月 20 日に解散した。そこで次の点を伺う。

- ① 国道 286 号の笹谷街道は、大正 8 年に川崎村婦人会が 500 本の松を植樹したといわれている。前川字北原ー今宿字町尻の間 2.4 km に並び立つ松の木は、全国でも珍しい「街道の松並木」として貴重な観光資源となってきた。この文化的価値をどう評価しているのか。
- ② 松並木を松枯れ被害から守ろうと、県が支援する「みやぎスマイル・ロードプログラム」を活用して、18 年間保存活動を続けてきた。しかし会員も高齢化と人手不足で活動断念に至った。どんな支援をし、この功績をどう評価しているのか。
- ③ 県大河原土木事務所によると、残る松の木は 50 本。そのうち 5 本を今年度に伐採予定という。理由は松枯れ。今後、年 1 回の草刈りと枝払いをするが、施肥や松くい虫を防ぐための「こも巻き」などはなくす方針。文化的価値の高い松並木を、少しでも長命させる手立てはないのか見解を伺う。

#### 2) がん検診

- ① がん検診履歴を令和 8 年度から市町村で把握することになった。今回の移行措置の狙いは。これまで町独自で集計していたと思うが、何がどう違うのか。
- ② 令和 7 年 12 月発売の週刊誌で、宮城県内胃がん患者の 5 年生存率が、44 都道府県（静岡・富山・宮崎を除く）で男女ともにトップと報道していた。県職員の話では「県対がん協会と協力して自治体が主体となり、住民に呼びかけている成果だ」という。当町の実情を伺う。

### 通告第 2 号 下斗米 麻子 議員

#### 1) 小学校建て替えを見据えた「地域開放型図書館等」の町民参画

7 年後に予定されている小学校の建て替えに伴い、町民も利用できる図書館等の設置が検討されている。基本計画の段階から「町民参画型」の図書館等を目指し具体的な構想を練るべきだと考える。そこで次の点を伺う。

- ① 現在の公民館図書室の環境や運用体制に関する現状の課題は。
- ② 計画段階から町民参画による検討委員会を立ち上げる考えは。
- ③ 地域開放型を実施している先進地の視察を実施する考えは。

#### 2) 民間の芽を活かした「川崎町ブランド（銘菓・お土産）」の創出

令和 11 年度に予定されている国道 286 号の整備完了を見据えた、観光及び産業振興の在り方を伺う。  
当町には、国営みちのく杜の湖畔公園という集客拠点があるにもかかわらず、印象付けるお土産や「銘菓」と呼ばれるお菓子が少ない。多くの観光客が訪れても「看板商品」がないばかりに、そのまま通り過ぎる方も多い。幸いここ数年、魅力的なカフェやこだわりの焼き菓子を提供するお店が次々と生まれている。また、豊かな農産物畜産物を育む農家の存在もある。道路開通という大きなチャンスを実に捉えるため、早急に民間と連携するなど、準備へ着手すべきと考えるが見解を伺う。

## 通告第3号 佐藤 清隆 議員

### 1) これからの広域連携、連携協約について

急激な人口減少と少子高齢化が進む中、当町のような小規模自治体では単独行政による住民サービスの維持は年々厳しさを増している。

総務省は小規模自治体の広域連携や連携協約の活用を推進しているが、当町として近隣自治体との広域連携に対する基本認識と、今後の具体的な取り組み方針を伺う。

- ① これから人口が減っても、住民サービスは現在と同じ水準で維持できるのか。
- ② 当町の広域連携等の基本的な考えは。
- ③ 特に教育と観光、公共交通は連携が必要であると思うが。

## 通告第4号 的場 要 議員

### 1) 人口減少時代におけるスマート・シュリンクについて

我が国では、人口減少と少子高齢化が急速に進み、当町においても今後さらに人口減少が予想されている。そこで、これからの自治体運営で重要となるのが、「スマート・シュリンク」という考え方である。

スマート・シュリンクとは、単純に行政サービスや公共施設を減らすのではなく、人口減少を前提として、必要な機能を残しながら、施設や行政サービスを集約・複合化し、将来にわたって持続可能な地域をつくるという考え方である。そこで次の点を伺う。

- ① 人口減少時代の町政運営において、当町は「スマート・シュリンク」という考え方をどのように捉えているのか。
- ② 今後の公共施設の建て替えや大規模改修について、施設を単独で更新するのではなく、複合化・集約化することで、建設費や維持管理費を抑えながら、より多くの行政サービスを提供する方向性が必要と考えるがいかがか。
- ③ 特に学校施設について、児童生徒数の将来推計を踏まえ、小学校・中学校をそれぞれ単独で建て替えるのではなく、義務教育学校などへの再編を含め、長期的な視点から検討する考えはないか。

## 通告第5号 眞幡 善次 議員

### 1) ふるさと文化の再生を

当町には先人から承継されている伝統的な芸能文化がある。特に神明神楽をはじめ支倉豊年踊り、本砂金鹿踊り、小野田植踊りなどの伝統文化を後世に引き継ぐためにも、町の支援が必要と考える。また、郷土の偉人支倉常長をまちおこしに取り入れることも大切である。そこで次の点を伺う。

- ① 伝統文化の後継者不足に対し、地域住民と連携をとり後継者育成をし、伝統的な芸能文化を守る必要がある。支援も含めどのように考えているのか。
- ② 今、支倉都市同盟が宮城県をはじめ仙台市、川崎町、石巻市、スペイン、イタリア等の間で結ばれる予定である。今後ますます支倉常長は注目を集めると思う。郷土の偉人支倉常長の銅像を建て、町を盛り上げるべきだと思うがいかがか。
- ③ みちのく杜の湖畔公園や、るぼぼの森との連携を強固なものにするなど、川崎町特有の自然文化を活かしたまちづくりが必要と思うがいかがか。

## 通告第6号 佐々木 昭雄 議員

### 1) 新たな公共交通ネットワークの構築

大河原駅へ向かう民間バス路線「川崎線」の一部区間が10月から廃止されることとなった。今回の一部廃止は、町民の移動手段を見直す大きな転換点であると考えます。そこで次の点を伺う。

- ① 人口減少や高齢化が進む中、これからは町民の生活実態や移動ニーズに合わせた、新たな交通手段を創り出すことが必要であり、交通施策は町の将来を支える重要な基盤になると考える。公共交通ネットワークを新たに構築する転換と捉え、町としてどのように取り組んでいくのか。
- ② デマンドタクシーの試験運行や、民間バス事業者が乗合運送の許認可を得て、実証運行により大河原方面への代替交通を確保する動きになっている。背景に人口減少が一番の原因と捉えているが、将来の公共交通の在り方を明確にした公共交通計画を策定する考えは。

## 通告第7号 高橋 義則 議員

### 1) 学校改築基本構想

川崎小学校の建て替えは、校舎が老朽化したため検討されてきた。当町の大きな事業である学校建て替えは大きな財政負担となることから、次の点を伺う。

- ① 学校建築にあたっては、文部科学省のガイドラインに沿って意見を集約し、基本構想を策定してから土地を取得すべきと思うがいかがか。
- ② 建て替えにあたっては、子どもたちの教育の在り方をじっくり考えることこそが必要と思うがいかがか。

### 2) スキー場の圧雪車

セントメリースキー場の閉鎖後、スキー場を活用できるように公募し、選定された事業者がスキー場を再開した。町はスキー場センターハウスの修繕に補正予算を組み修繕し、事業者へ貸し付けている。

圧雪車など機械類は事業者へ無償で貸し付ける契約をしているが、なぜ圧雪車1台を町外のスキー場にリースすることになったのか。リースにあたっては事業者と合意のとなのか。



### ☆議会生中継配信☆

インターネットによるライブ中継が視聴できます。

左のQRコードまたは町のホームページよりご覧ください。

傍聴に手続きは必要ありません。どうぞお気軽にお越し下さい。

川崎町議会議長 眞壁 範幸